

シリアルデバイスサーバ
採用事例九州大学病院/株式会社九州テン様
医療機器の位置検知システムに
ステータス監視用としてシリアルデバイスサーバが採用

血液循環装置や人工呼吸器といった高度医療機器の位置情報と稼働状況をリアルタイムに収集する位置検知システムに、シリアルデバイスサーバが採用されました。既存の医療機器が持つRS-232Cの出力部分をそのまま利用し、ステータス情報を無線で転送可能に。

採用先プロフィール

導入先:九州大学病院様
採用先:株式会社九州テン様
採用製品:病院内の医療機器
採用目的:医療機器の稼働情報を無線で転送
採用台数:数百台
採用時期:2011年3月



シリアルデバイスサーバ 採用前の課題



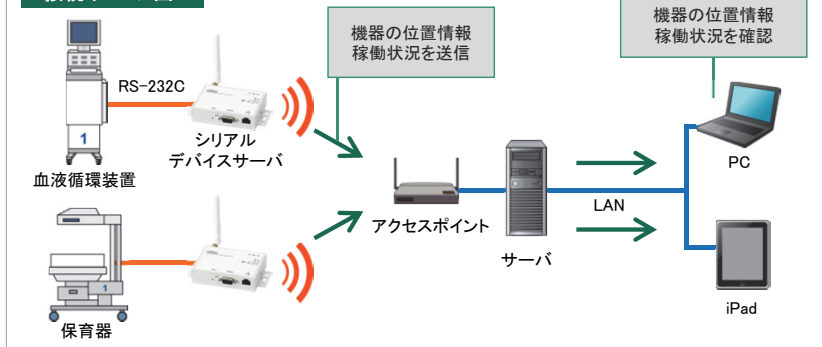
●医療機器の位置検知は、RFIDアクティブタグをつけることで、位置検知は出来たが、稼働状況までは判らなかった。
そのため、医療機器をMEセンターや看護師が借りて利用して良いか分からず、システムとして未完成であった。

シリアルデバイスサーバ 採用後のメリット



●位置検知システムに医療機器の情報を取り込むことができた。また、RS-232Cでデータを出力している機器であれば、多種の医療機器に取り付けることが可能になる。(血液循環装置、人工呼吸器、保育器など)
●リアルタイムにデータを収集することができるようになったので、MEセンターや看護師が医療機器を効率よく使えるようになった。

接続イメージ図



お客様の声

九州大学病院
医療技術部 臨床工学部門 MEセンター
野口 亨 様

- 医療機器にRS-232C出力が付いているものが多いので、機器の状態把握が出来るのではと考えました。
- 機器選定にあたり、国内に生産拠点をもち、ハード・ソフトともに自社開発であることを重要視しました。
 - ・カスタマイズの要望に応えることができる技術対応力。
 - ・技術サポートに信頼感がある。
- 同様な機器を複数社検討したが、仕様・コスト・技術力で見合うものとして最終的にサイレックスを採用しました。

製品紹介

シリアルデバイスサーバ
SX-520-1035 カスタム

IEEE 802.11b/g規格
2.4GHz に対応



<カスタマイズ内容>

複数のアクセスポイントに、それぞれ異なるSSIDを設定している環境で、機器が移動してもネットワークが常時接続出来るようにして欲しいという要望に対応。

ソフトウェア : ESSID設定可能個数を20個へ拡張

ハードウェア : 九州テン様向けラベル・ロゴ等の変更

※アプリケーションは九州テン様・医療機器ベンダ様のツールをご利用